

福島県三島町
広報

平成26年7月4日発行
(毎月第1金曜日発行)

Public relations
of Mishima-town,
Fukushima in Japan

みしま

2014

July
文月

7

No.256

「かしや猫」^{あまごいいわ}「雨乞岩」
伝説とブナの原生林が残る
志津倉山

(写真)6月1日に行われた志津倉山開き。

山開きには過去最多の登山客320人が登頂しました。

ブナの原生林と伝説が数多く残る志津倉山にぜひ登ってみませんか。

「ふくしま駅伝」選手募集



昨年の出場チーム「希望ふくしま」のメンバー

昨年のふくしま駅伝大会は、25回目の記念大会となり、当町は『希望ふくしま』合同チームとして出場しました。

今年も11月16日⑩に開催される同大会に希望ふくしまチームとして、他町村と協力し出場することになりました。

町の代表として『元氣と感動を与える走りがしたい!』という方を募集します。

◆応募締切

7月18日(金)まで

◆申し込み先

町教育委員会 ☎(48) 5599



大会に向けて西方班が毎晩練習中 消防ポンプ操法

7月27日⑩に両沼地方予選会

応援よろしくお願いします

第39回福島県消防操法大会両沼地方予選会に向けて、宮下地区の上ノ原車庫の駐車場で毎晩練習しています。

●出場選手

小型ポンプの部／西方班▶指揮者＝小松昭さん、一番員＝北舘亮さん、二番員＝小松瑛司さん、三番員＝二瓶勲さん、補欠＝山内大介さん、吸管補助員＝二瓶辰紀さん



福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

■面積 90.83km² ■人口 1,848人 (6月1日現在)



伝統行事 虫送り

7月 目次

2 ふくしま駅伝選手募集
消防西方班ポンプ操法

3 伝統行事「虫送り」

4 TownNews8 みしまの出来事
交通安全協会定期総会／ミニ講演会／地域懇談会／三島小でコンサート／総合健診実施／「田んぼの学校」／高齢者集合住宅安全祈願祭／ウォーキング教室開催

6 町民記者通信

「さつきの会」がごみ拾い／名入地区グラウンドゴルフ大会／かぐや姫／西方地区運動会／チョウの撮影会／大登長寿会ウォーキング教室／サロンないりオープン

8 臨時福祉給付金

子育て世帯臨時特例給付金

9 節電の依頼／五十嵐正一さんに叙勲／熱中症に注意

10 民話 第40話 やきめしかぶり

こんにちは。協力隊です。Vol.9

11 県立宮下病院から／保健・子育て・健康づくり予定／地域ふれあいサロン予定ほか

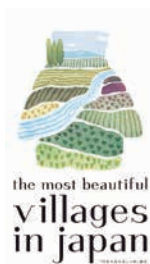
12 消防職員採用試験／合同就職面接会／入国警備官採用試験／放送大学入学生募集／若郷湖さわやかフェスティバル／自衛官採用試験／7月の納税／ご寄附／町の人口／福島財務事務所から

14 社会を明るくする運動／消防署からのお知らせ／会津坂下警察署から

15 第28回ふるさと会津工人まつり
第3回てわっさの里まつり

16 JR只見線ライトアップ

伝統行事「虫送り」西方・名入地区



文・写真
町民記者
坂内 洋さん(西方)

小雨も吹き払う「虫送り」のかけ声

6月7日、西方地区伝統の「虫送り」が行われました。小雨の心配もあり、幼児等は雨合羽姿も見られましたが、中学生が1カ月以上もかけて準備した手作りの提灯を手に大きなかけ声を上げて、黄昏れる西方の街を練り歩きました。行列が終わると、子どもたちは提灯と交換にお菓子袋を貰い、疲れた顔から笑顔になって帰路についていました。

この虫送りの、子どもの減少により中学生に負担が大きと言われて久しく、特に山車の作成では多くの大人の協力が必要ですが、伝統行事を続けたいという子どもたちの気持ちを大切に継続していきたいものです。



文・写真
町民記者
五十嵐 公男さん(名入)

名入子ども会主催の「虫送り」

6月14日、名入子ども会主催の伝統行事「虫送り」が行われました。午前中は小雨交じりの中、年長者が付き添い、竹・雑木の切り出し、山車の飾りつけを行い、雨の上がった午後には、悪虫を入れる「虫かご」、「提灯」、「タイマツ」、「五穀豊穡旗」を作り、午後7時に、名入上地区から下地区に向かい練り歩いた後、名入集会所前広場で燃やしました。中学生が行事の主体となり、寄付金集め、前準備、行事の遂行まで行っていました。近年は少子化で、各地区の子どもたち(37名)の応援を得て行っている状況で、今後、存続自体危ぶまれています。

早期発見が健康への第一歩 総合健診実施

総合健診は6月13日から15日、16日、17日の4日間、町民センターで行われ、がん検診や特定健診、健康診査のほか、保健指導などが行われました。町では昨年度から一人あたりの医療費が再び増加にあります。町民のみなさんが受診することで、病気の早期発見・早期治療につながり、保険料の負担が軽減されます。総合検診を受診出来なかった方も、必ず施設健診を受診しましょう。



町民センターで行われた総合健診



昔からの道具「コロバシ」で草取りをする三島小5年生

「コロバシ」を使って草取り 三島小「田んぼの学校」

三島小5年生の稲作体験授業「田んぼの学校」の草取りは、6月17日に行われました。宮下地区活性化センターの横「三島小の田んぼ」で、宮下地区の方々などの指導で、昔からの道具「コロバシ」を使い、草取りを行いました。子どもたちは、ぬかるむ田に足をとられながらも、上手に草取りを行いました。先月27日に田植えをした稲は元気に育っています。今後は稲刈り、脱穀、最後に収穫祭が予定されています。

高齢者集合住宅建設工事始まる 高齢者集合住宅安全祈願祭

三島町高齢者集合住宅新築工事の安全祈願祭は6月19日に行われ、二瓶隆司町長、小柴修一議長をはじめ議会議員、や工事関係者など約30人が参加しました。

高齢者集合住宅は昨年度より、住環境整備検討委員会、並びに高齢者住宅建設部会で検討を重ね、昨年度実施設計を実施し工事の着工に至りました。11月に施設竣工、12月に入居開始を目指しています。



安全祈願祭で「鍬入れ」を行う二瓶隆司町長



角田陽市指導員から準備運動の方法を教わる参加者の方々

楽しく一緒に歩きましょう ウォーキング教室開催

第1回ウォーキング教室は6月25日、町民センターで行われ、約30人の方が参加しました。(社)日本ウォーキング協会のウォーキング指導員の角田陽市さん(大登)が講師を務め、準備運動の方法や正しい歩き方や姿勢などを教えました。今年度から始まったウォーキング教室は、全5回の日程で開催され、4回目と5回目はウォーキング大会への出場を計画しています。皆様のご参加をお待ちしています。

みんなの心がけで交通事故ゼロに 交通安全協会三島分会定期総会

交通安全協会三島分会総会は6月5日、町民センターで行われました。諏訪義幸会長は「分会活動を支えてくださる皆さまに感謝いたします。今後も事故防止に努めましょう」とあいさつしました。総会の席上、分会功労者、優良運転者などが表彰されました。また、役員全員の再任が可決されました。▶会長 諏訪義幸さん▶副会長 五十嵐健二さん、佐藤好一さん▶監事 金子喬さん、二瓶辰雄さん



総会出席者の前であいさつする諏訪義幸会長



子どもたちに写真で只見線の魅力を伝える星賢孝さん

みんなで守ろう只見線の景観 三島小で星賢孝さんがミニ講演会

JR只見線の魅力を紹介するミニ講演会は6月6日、三島小で行われました。この講演会は、只見線沿線の魅力を子どもたちに伝えようと、県会津地方振興局が主催したものです。金山町在住の星賢孝さんが講師を務め、自身が撮影した写真とともに小学1・2年生に只見線の魅力を伝えました。星さんは「みんなが普通に見ている風景はここでしか見られないものです。本当にすごい場所に住んでいるんだよ。」と話しました。

大谷バイパスの早期着工を要望 県会津若松建設事務所と地域づくり懇談会

県会津若松建設事務所との地域づくり懇談会は6月10日、町民センターで行われ、杉明彦県会津若松建設事務所長、二瓶隆司町長、県会津若松建設事務所幹部と町の幹部職員が出席しました。二瓶町長は「住み続けたいまちづくり実現にも集落を結ぶ道路整備が必要」と述べ、県道会津若松三島線・大谷バイパスや国道400号・杉峠バイパスの事業推進などを要望しました。その後、県の主要事業や町の振興計画の進め方などについて意見交換を行いました。



懇談会では県会津若松建設事務所と意見交換が行われた



会場は太鼓のリズムと笑い声で包まれた

全身で奏でるリズムにみんな笑顔 三島小でコンサート

ドラムカフェジャパンによるコンサートは6月12日、三島小で行われました。地域の未来を担う子どもたちの個性や才能を育てようと、東北電力会津若松支社が主催したものです。会場には三島小の子どもたちのほか、三島保育所の園児や一般の方も訪れ、リズムにあわせてジェンベと呼ばれる太鼓をたたいたり、手や足など全身を使って音を出す楽しさを言葉や文化の壁を越えて楽しみました。



大賑わいの珍チョウ撮影会 川井地区 文・写真 町民記者 角田伊一さん (川井)

日本産の珍チョウとして有名なキマダラルリツバメが発生の最盛期を迎えており、美しい生態写真を写そうと、連日全国各地より研究家やプロカメラマンなどのほか、昆虫愛好者が三島町を訪れています。三十年前より貴重な生息地の保護活動が続けている只見川自然誌研究会(角田伊一会長)では、チョウの発生期を迎えると生態観察会、撮影会を連日開催し、貴重なチョウの生態を解説するとともに、保護活動の啓蒙につとめております。このような光景は七月月上旬までみられます。



「健康は足元から」 大登長寿会ウォーキング教室 文・写真 町民記者 角田陽市さん (大登)



大登長寿会のウォーキング教室が6月10日、開催されました。準備運動(ウォームアップストレッチ)、よい姿勢と正しい歩き方について確認した後、健脚組とシルバーカー組で2コースに分かれ地区内を歩きました。普段運動する機会の少ない参加者は周囲の景色を眺めながら、和気あいあいの中交流を深め、心地よい汗を流していました。今回は秋、10月に実施を予定しています。

待望の「サロンないり」がオープン 名入地区 文・写真 町民記者 五十嵐公男さん (名入)

「サロンないり」立ち上げ集会在6月17日、名入公民館で開催されました。第1回目という事で、始めに社会福祉協議会事務局長の小松順太郎氏より、サロンの概要・年間スケジュールが説明され、その後、サロンの名称が「サロンないり」、代表には二瓶厚さんを参加者の総意で決定しました。休憩を挟み、座って出来るストレッチを行いました。日頃の運動不足に、「痛い、痛い」を連発しながら、今回の開催を楽しみに閉会となりました。

なお「サロンないり」は、会員は25名、ボランティア3名で発足しましたので、各地区のサロン会員の皆様、今後とも「サロンないり」を宜しくお願いします。



一緒に広報紙をつくりませんか

● 町民記者募集 ●

町民記者は、現在10人の方に委嘱していますが、やってみたいという方をさらに公募します。気軽に楽しく、広報紙づくりに加わりませんか。

※必ず定期的ということではありません。可能な範囲でご協力をお願いするものです。

▶公募人数=1人~2程度▶業務=「広報みしま」への寄稿(町内の各種活動・話題等で、広報する内容として認められるもの)▶方法=写真と記事の提供(手渡しでも電子メールでもお受けします)▶貸与=小型デジタルカメラ1機、腕章▶報償金=寄稿1件につき2千円【応募先】役場 地域政策課 ☎(48) 5533

「さつきの会」がごみ拾い 大登地区 文・写真 町民記者 角田 陽市さん (大登)



晴天に恵まれた5月24日、大登ボランティア「さつきの会」の恒例行事「地区内ごみ拾い」が行われました。会員16人が参加し、「日本で最も美しい村連合の名に恥じないよう、地区内をきれいにしましょう」と会長があいさつを述べました。その後、各班に分かれ集落内の道路、地区内の国道252号、県道小栗山宮下停車場線沿い、町営グラウンド・駐車場周辺のごみ・空き缶等を拾い集めました。参加者は予想以上のごみの量に驚いていました。

老人クラブの方々は益々お元気 名入地区 文・写真 町民記者 五十嵐 公男さん (名入)

名入老人クラブ主催のグランドゴルフ大会が5月24日、町民運動場で開催されました。大会当日は、天候にも恵まれ、田植え・農作業など何かと忙しい中、14名の会員が参加し、日頃鍛えた腕と感で、一打でも少なくしようと、真剣にプレーしました。大会終了後、名入公民館に場所を移し、順位発表・親睦会を兼ねて食事会を行い、閉会となりました。午後にはグランドゴルフの疲れも見せず、早速、農作業に励む人もちらほら。名入老人クラブの方々は益々お元気!



花で地区内を飾ります! 宮下地区 文・写真 町民記者 小島 純さん (宮下)



宮下地区で5月31日、竹筒プランター「かぐや姫」作りが行われ、約40人が協力しました。まちづくり事業の一環として毎年行われています。「かぐや姫」は、竹を三本一組に組み立て、筒の中に花を植えたものです。各家の玄関先に飾られている「かぐや姫」を回収し、花を植え替え、痛んだものは前日に新たに切った竹で作り直し、各家庭に届けられました。玄関先に置かれた「かぐや姫」は地区内の景観をきれいに彩っています。

和気会々の地区運動会 西方地区 文・写真 町民記者 坂内 洋二さん (西方)

6月1日、17回目となる「西方健康を守る会」主催の運動会が生涯学習センター体育館で行われ、100余名の子どもからお年寄りが参加して、ラジオ体操初め11種目の競技にハッスルプレーを展開しました。「宝の運搬」では、一輪車に山積みのボールが転げ落ちる度に歓声が上がり、「二人三脚」では子どもとお年寄りが息を合わせて走ったりと、地区民の交流・親睦と健康増進の半日を楽しみました。



【消防関係叙勲】 消防活動 36 年 五十嵐正一さんに瑞宝単光章

五十嵐正一さん（西方）が、春の叙勲（消防関係）において瑞宝単光章を受章しました。

五十嵐さんは昭和 30 年 4 月 1 日に町消防団員拝命以来、町消防団分団長を退任するまで、36 年間にわたり、あらゆる災害から町民の生命と財産を守るために尽力されました。また、消防団の指導、教育に尽力されました。

会津地方振興局の須藤浩光局長が町長室で叙勲の伝達を行いました。



（写真左から）
二瓶隆司町長、五十嵐正一さん 七重さんご夫妻、須藤浩光会津若松地方振興局長

熱中症に ご注意ください！！

屋内でも熱中症になる
事例が発生しています。

日常の健康管理、エアコンや
扇風機の利用、
こまめな水分補給など熱中症予
防を心がけましょう。



《東北電力からのお知らせ》 節電にご協力ください

日頃より、節電にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて先般、国の電力需給に関する検討会合において、全国の今夏の電力需給対策が決定され、当社管内におきましては、「数値目標を伴わない節電」に取り組んでいくこととなりました。

当社の電力需給につきましては、平成 22 年並みの猛暑となった場合でも、7 月は 6.0％、8 月は 7.5％、9 月は 7.8％の予備率を確保できる見通しとなっております。

このような見通しは、東日本大震災以降、緊急設置電源の設置や長期計画停止をしていた火力発電所の運転再開など、あらゆる供給対策を積み重ねたことに加え、これまでお客さまにご協力をいただいております節電の定着分をその前提として見込んでいるものであります。

しかし、仮に火力発電所が予期せぬトラブルで停止した場合には、一気に需給が逼迫する恐れもあることから、当社におきましても、暑さが本格化する 7 月から 9 月は、緊張感を持って設備の運転・保守にあたり安定供給の万全を期してまいります。

こうしたことから、皆さまには大変ご不便をおかけしますが、今年の夏も、上手な電気のご使用や無理のない範囲での節電へご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

ご家庭における主な節電事例	
エアコン	室温を 28℃に設定する。
	すだれや、よしず等で日差しを和らげる。
	無理のない範囲で扇風機を使う。
	フィルターを定期的に清掃する。
冷蔵庫	冷却設定を「中」にする。 扉の開閉は必要最小限にする。
テレビ	省エネモードにする。 長時間見ないときは主電源を切る。
照明	不要な照明は消す。
炊飯器	1 日分まとめて炊いて冷蔵庫に保存する。
洗濯機	容量の 80％を目安にまとめて洗います。
待機電力	リモコンの電源ではなく、主電源を切る。
	長時間使用しない機器はプラグから抜く。

※本事例は一般的な取り組みであり、お客さまの状況に応じて無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。

☎東北電力コールセンター ☎ 0120（175）466
 ホームページ「節電方法のご紹介」
<http://setsuden.tohoku-epco.co.jp/setsuden/>

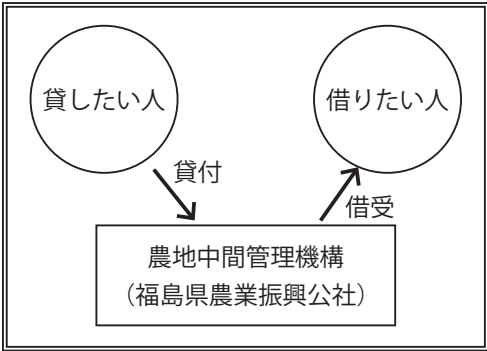
「臨時福祉給付金」「子育て世帯臨時特例給付金」 2 つの給付金についてお知らせします

臨時福祉給付金	子育て世帯臨時特例給付金
◆支給対象者 平成 26 年度分の住民税が課税されていない方 ※ただし、次の人は除きます。 ・課税者の扶養親族 ・生活保護受給者	◆支給対象者 平成 26 年 1 月分の児童手当を受給されている方 ※ただし、次の人は除きます。 ・児童手当の所得制限限度額以上の方 ・生活保護受給者
◆支給額 1 人につき 10,000 円 ※下記の加算対象者は 1 人につき 5,000 円を加算 ・老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金等の受給者 ・児童扶養手当、特別障害者手当などの受給者など	◆支給額 対象児童 1 人につき 10,000 円

◆特記事項

- 対象者には役場 町民課から通知と申請書を送付します。
- 申請期間は 7 月 1 日～ 9 月 30 日までです。
- 2 つの給付金がどちらも対象となる場合でも、受給できるのはどちらか 1 つの給付金のみです。
- 平成 26 年 1 月 1 日時点で三島町に住所があった方が対象です。
- 平成 26 年 1 月 1 日以降に亡くなった方は対象外です。
- 平成 26 年 1 月 1 日までに生まれた方は対象となりますが、1 月 2 日以降に生まれた方は対象外です。

☎役場 町民課 福祉係 ☎（48）5565



◆農地中間管理事業とは
 農地中間管理事業は、農地中間管理機構（福島県農業振興公社）が農地の貸付を希望する方から農地を借り受け、規模拡大を希望する方へ農地をまとめて貸し付けることにより、地域内の農地利用を進める事業です。
 ①自分で農地を耕作できない方は農地中間管理機構（福島県農業振興公社）へ貸付ください。
 ②農地の規模を拡大したい方は借り手の公募に応募ください

◆農地の貸し借りの流れ
 ①農地中間管理機構が区域を定めて農地の借り手を公募（インターネットなど）
 ※公募開始の時期は平成 26 年 8 月を予定
 ②借入希望者が応募
 ③応募者の公表（公社ホームページなどで公表）
 ④農地を貸したい人は、町産業建設課へ相談
 ⑤貸し手、借り手の調整後、その結果を公表し、貸借を決定します。
 ◆問い合わせ先
 役場 産業建設課 産業係
 ☎（48）5566
 ※まずはご相談ください。

農地中間管理事業のお知らせ
 7月から相談を受け付けます

民話



第40話

やきめしかぶり

元話 故小柴モトさん（西方）
再話 五十嵐七重さん（西方）

ざくつと昔あったどおある処に、何くれえ身上持ちで、まあ嫁ももらわねえで欲深な男いだっけどおこんな雨のふる晩方あきれえなおなごの人來ったど「こんばんわ」雨にふらっちえ道はわがんねえべしほとほと困つちまった。どぅが一晚とめてくんつえ」「なあやれ それは困ったべ。食い物は無えが泊まるだけなら良があべ。よれ」どつて泊めてやっただお。それが明日になつても明後日になつても出てぐふう無えだど。まあ飯も他の物もくわねえで、しえんけで稼いでくれつからな。何もかも良ぐ気がきいて、家んなちやんちやんとやつてくれんだど。んじやがら男は

泊めでおいだどお。なんちゅつたたつて男の食い物はこしやつてくれるが、我がはなつても食わねえで稼ぐがら置いだわけだべえ。

わけや。したらばやつぱ同じくまんま炊いで握つと頭がかぶつただどお。でつこら食つちまあど大蛇なつたどお。はあぶつたまげだ男は、屋根がらズリごげで逃げだ逃げだあゝしたらば大蛇追っかけてきたどお。魔物だものハア男はデンデン逃げる大蛇はズルズル追っかける

男はハア切なくてヤブんなさかくつちやどお。ヤブはショウブとヨモギの藪だっけど。追っかけてきた魔物は、そのヤブん中さ入ったけが、ウウゝゝつちゅうど死んでしまったどお。

やれ大蛇はヨモギとショウブが毒だつたがら、死んだぞうだ。ざつとむかしがさげだ



Vol.9

三人まつりから編み組細工を考える

三島町地域おこし協力隊 三浦 健太郎

こんにちは。協力隊です。

6月7日・8日に、三島町の最大の行事である「第28回ふるさと会津工人まつり」が開催されました。昨年度の工人まつりは、引越して来てから1週間しか経っておらず、とにかくあつという間に過ぎてしまいました。今年も早い時期から準備にも携わっていたので、昨年とは違った感想や反省点などを感じることでできました。

様々なジャンルの工芸品が集まる工人まつりの中でも1番の人気を誇るのが、山ブドウ・マタタビ・ヒロロなどの編み組細工であり、「奥会津編み組細工」として国の伝統的工芸品として認定されています。

よく、地元や都会の人から、「編み組細工で何かビジネスはできないのか?」と言われます。たとえば、

インターネット販売による流通経路の拡大などが挙げられますが、工人のほとんどが高齢者で、さらに農業などとの兼業であること、材料の確保が困難なことなどから、それはとても難しい状況です。

しかし現在の簡単に手に入らない状況が、人気を高めているという側面もあると思います。また、町にとっても、工人まつりなどのイベントに來なくても品物が手に入るようになれば、町に來てもらつたらり、知つてもらう機会が減り、大きな痛手になります。

これらのことから、編み組細工という文化、さらには町全体にとつても、現在の編み組細工に対する需要と供給の関係は、安易に崩してはいけないのかもしれないと感じました。

県立宮下病院から

栄養士のつぶやき

小野 知恵 管理栄養士



暑い日が続くとだるくて食欲がなくなり、「お昼はソーメンでいいか・・・」となりがちですが、夏バテ予防にはもう少しいろいろな栄養が必要です。暑い夏を乗り切るための食事のコツを紹介します。

1. 主食（ごはん、麺、パン）だけでなく、おかずもしっかり食べましょう。たんぱく質(肉、魚、大豆製品、卵)、ビタミン（野菜、果物）、ミネラル（海藻や乳製品）を栄養のバランス良く食べることが大事です。
2. ビタミンB1（豚肉やうなぎ、大豆、ごまなど）を忘れずに摂りましょう
※にんにく・にら・ねぎなどに含まれる「アリシン」はビタミンB1の働きを助けます。
3. 香辛料や香味野菜を上手に使って、食欲増進をはかりましょう

～おすすめレシピ～

「豚肉の冷しゃぶ香味だれ」

▶作り方

- ①茹でた豚肉を氷水で冷やします。
- ②香味だれ（ポン酢しょうゆ＋にんにく、ねぎ、生姜、青しそなどのみじん切り）を豚肉と野菜（レタス、きゅうりなど）にかけてます。
※奴豆腐や蒸しなすなどにかけてもおいしいです。ぜひお試しください。

保健・子育て・健康づくり

町民課 ☎ (48) 5565



実施予定

4カ月児健診

7月 8日㊦ 11:15 ～ 坂下厚生総合病院
8月 12日㊦ 11:15 ～ 坂下厚生総合病院

3歳児健診

7月 16日㊦ 13:00 ～ 柳津町・銀山荘

足腰げんき教室

▶室内運動編

7月 8日㊦ 13:30 ～ 町民センター
8月 4日㊦ 13:30 ～ 町民センター

心の健康相談（※事前申し込み必要）

8月 6日㊦ 13:30 ～ 福寿草

※7月22日の心の健康相談が8月6日に変更になります。

【申込先】町民課 ☎ (48) 5565

※この実施予定は、別に配布しました平成26年度健康づくり年間予定表（ピンク色の一枚刷り）から転記しています。

地域ふれあいサロン

浅岐あったかサロン・間方いきいきクラブ 合同遠足

7月8日㊦ 会津三観音参り

サロンないり

7月23日㊦ 10:00～ 名入集会所

心配ごと相談

7月17日㊦ 9:30～ 福寿草

町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344



多重債務・貸金業に関する相談窓口

福島財務事務所では、返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの方々からの相談に応じています。抱えている借金の状況をお聞きし、必要に応じ弁護士・司法書士などの専門家に引き継ぎを行います。相談は無料ですのでお気軽にご相談ください。

また国や県の登録を受けずに貸金業を営む、いわゆる「ヤミ金融」には十分ご注意ください。利用している貸金業者の登録状況に関する問い合わせや、不正に利用されている預貯金口座に関する相談も受け付けています。

◆相談窓口

福島財務事務所理財課
(福島市松木町 13-2)

◆受付時間

平日(祝日、年末年始を除く)の
午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分

◆電話番号

多重債務相談窓口直通
☎ 024 (533) 0064

金融犯罪等被害防止のための出前講座

福島財務事務所では、地域のコミュニティ活動や、各種団体の会合などにお伺いし、「なりすまし詐欺」などの金融犯罪被害に巻き込まれないよう、日ごろから注意していただきたい内容などを分かりやすくご説明いたします。講座は無料ですので、お気軽にお申し込みください。

☎福島財務事務所 理財課
☎ 024 (535) 0303

自衛官採用試験

採用種目	資 格	受付期間	日 時	試験会場
航空学生	高卒 (見込含む) 21歳未満	8月1日 ～ 9月9日	9月23日㊥	郡山労働 福祉会館
一般曹候補生	18歳以上 27歳未満	8月1日 ～ 9月9日	9月20㊤午前	会津大学
自衛官候補生 (男子)	18歳以上 27歳未満	年間を通じ て受付	受付時に お知らせします	
自衛官候補生 (女子)	18歳以上 27歳未満	8月1日 ～ 9月9日	9月25日㊦	郡山駐屯地

詳しくは下記までお問い合わせください。

☎自衛隊 福島地方協力本部 会津若松出張所
会津若松市門田町大字黒岩字大坪 57-1 ☎ 0242 (27) 6724

ご寄附
ありがとうございました

町へのご寄附

河 野 廣 様 (神奈川県)

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

杉 本 典 行 様 (桑原)

秦 茂 様 (大石田)

町の人口と世帯
6 月 1 日現在

人口	1,848	-8	出生	0
男	893	-4	死亡	5
女	955	-4	転入	1
世帯	822	-8	転出	4

③住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月 1 カ月間に届出のあった人数です。

7 月の納税

納期限 7 月 31 日

▶固定資産税
第 2 期

▶国民健康保険税
第 2 期

▶介護保険料 (普通徴収)
第 2 期

忘れずに納付ください。
役場 町民課

お詫びと訂正

広報みしま 6 月号 4 ページで、平成 24 年度の町の国民健康保険 1 人当たりの医療費が県内 6 位と記載しましたが、11 位の誤りです。お詫び申し上げます。

放送大学
10 月入学生募集

放送大学では平成 26 年度第 2 学期 (10 月入学) の学生を募集しています。放送大学はテレビやインターネットを通して授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。心理学、福祉、経済、歴史、文学、自然科学など幅広い分野を学ぶことができます。
● 15 歳以上の方なら 1 科目から学習する選科履修生・科目履修生として入学できます。

● 18 歳以上の大学入学資格をお持ちの方なら学力試験はなく、全科履修生として入学でき、4 年以上在学して 124 単位以上を修得し卒業すると、学士 (教養) の学位を取得できます。
● 一つの分野を体系的に学びたい方には「放送大学エキスパート」を実施しています。

出願期間 8 月 31 日㊤まで
※資料を無料で差し上げていますので、下記までご請求ください。またホームページでも受け付けています。

☎放送大学 福島学習センター
〒 963-8025 郡山市桑野 1-22-21
(郡山女子大学内)
☎ 024 (921) 7471

<阿賀川河川事務所からのご案内>

若郷湖さわやかフェスティバル

緑の美しい夏のひとときを、湖畔で過ごしてみませんか。

◆日 時 7 月 19 日㊤ 10 時～ 14 時
◆場 所 大川ダム (若郷湖東公演)
◆内 容 ダム見学会、木工教室
電気教室など、なお、

KIRA ☆ GIRL、ゆるキャラも出演

☎国土交通省 北陸地方整備局
阿賀川河川事務所 大川ダム管理支所
☎ 0242 (92) 2839

ふくしま
大卒等合同就職面接会

平成 27 年 3 月に大学を卒業予定の方、平成 24 年 3 月以降に卒業して就職活動中の方を対象に、正社員で雇用する計画のある県内企業との面接会を開催します。(事前申込不要)
【福島会場】

◆日時 8 月 8 日㊤
◆場所 コラッセふくしま
(福島市三河南町 1 番 20 号)
◆内容 12:30～ オリエンテーション
14:00～ 合同就職面接会

☎福島新卒応援ハローワーク
☎ 024 (529) 9649

【郡山会場】

◆日時 8 月 20 日㊥
◆場所 ビッグパレットふくしま
(郡山市南 2 丁目 52 番地)
◆内容 10:30～ オリエンテーション
13:00～ 合同就職面接会

☎郡山新卒応援ハローワーク
☎ 024 (927) 4633

入国警備官採用試験

◆受験資格

警備官

①平成 26 年 4 月 1 日において高校または中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して 5 年を経過していない者および平成 27 年 3 月までに高校または中等教育学校を卒業見込みの者

②人事院が上記①に準ずると認める者
警備官 (社会人)

昭和 49 年 4 月 2 日以降に生まれた者
で上記①に定める期間を経過した者および人事院がそれに準ずると認める者

◆受付期間

インターネット 7 月 22 日㊥～ 7 月 31 日㊦
郵送または持参 7 月 22 日㊥～ 7 月 25 日㊤
第 1 次試験 9 月 28 日㊤
第 2 次試験 10 月 28 日㊥～ 10 月 30 日㊥
合 格 発 表 11 月 25 日㊥

☎仙台入国管理局総務課
☎ 022 (256) 6076

広域市町村圏整備組合
「消防職員」採用試験

会津若松地方広域市町村圏整備組合では、来年度採用予定の消防職員・消防職員 (救急救命士) を募集します。

◆採用職種・採用予定人員

消防職員 12 人程度

消防職員 (救急救命士) 若干名

◆職務内容 消防署等において、予防、予防、救急等の業務に従事します。男女とも原則として深夜業を含む交替制勤務です。(6 カ月間の消防学校研修後、各部署に配属されます)

◆受験資格 高校卒業程度の学力を有し、昭和 62 年 4 月 2 日から平成 9 年 4 月 1 日までに生まれた者で、身体健康な者。救急救命士については、昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、救急救命士法による救急救命士の免許の交付を受けている者。

◆試験申込書の請求 消防本部・消防署・分署・出張所、市町村役場で交付します。また消防本部のホームページからダウンロードすることもできます。<http://www.119-aizu.jp>
※郵送を希望する場合は、封筒に「採用試験用紙請求」と朱書きし、120 円分の切手を貼ったあて先明記の返信用封筒 (A4 判大) を必ず同封して、会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部総務課 (〒 965-0131 会津若松市北会津町中荒井字諏訪前 11) へ送付してください。

◆受付期間

平成 26 年 7 月 16 日㊥から
平成 26 年 8 月 15 日㊤まで
※執務時間中 (8:30～17:15) に限る。土曜日、日曜日、祝日を除く。
郵送の場合は平成 26 年 8 月 13 日㊥の消印のあるものまで受け付ける。

◆第一次試験 (教養・体力)

と き 平成 25 年 9 月 21 日㊤

ところ 会津大学

☎会津若松地方広域市町村圏整備組合
消防本部総務課総務グループ
☎ 0242 (59) 1400



二日間で2万人が来場 雨雲さえも吹き飛ばす会場の熱気 第28回ふるさと会津工人まつり

てわっさの里まつりで賑わった宮下地区
工人まつりと同時に、てわっさの里まつりが宮下町内で開催されました。年々出展者が増え、今年は54店（うち町内20店）が出展。訪れる方も年を重ねるごとに増加し、宮下地区内は大勢の来場者で賑わいました。



宮下地区内は多くの来場者で賑わった



悪天候でも多くの来場者
二日間で来場者2万人
町最大のイベント、第28回ふるさと会津工人まつりは6月7日・8日の二日間、生活工芸館前で開催されました。初日は朝から雨模様でしたが、県内外からの来場者が続々と訪れ、会場は工人と来場者の熱気に包まれました。雨も午前中には降りやみました。まるで、会場の熱気が雨雲を吹き飛ばしたかのようでした。二日間での来場者は推計約2万人を数えました。出展募集には256店の応募があり、審査を経て167店（うち町内32店）が出展。北は北海道・南は佐賀県から、工人たちがこだわりの品々を持って集まりました。

てわっさの里まつり



多くの来場者で賑わう、出展者の軒先

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯（5月）**3件**

自転車を利用する際のお願い

①ツーロック（施錠2箇所）を

自転車盗難は、県内の全刑法犯内で最も件数の多い犯罪です。被害に遭った自転車は無施錠やワンロック（施錠1箇所）による被害が大多数です。

ツーロックされた自転車の盗難被害は極めて少なく、被害防止に大変高い効果があります。

ワイヤー錠などの鍵をもう一つ取り付け、ツーロックしてください。

②「福島県自転車安全利用五則」を守りましょう

★福島県自転車安全利用五則★

1. 自転車は、原則車道を左側通行、歩道は例外
2. 歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行
3. 信号遵守と一時停止・安全確認
4. 信号ルール・マナーを守る
 - ・飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - ・夜間はライト点灯・反射材装着
 - ・運転中の携帯電話・ヘッドホン使用、傘さし運転の禁止
5. 被害軽減のためヘルメット着用に努める

街頭犯罪発生件数（1月～5月）

区 分	管 内	三島町
強 盗		
空き巣ねらい	5	1
忍 び 込 み	4	3
事務所荒らし		
出 店 荒 ら し		
自 動 車 盗		
オートバイ盗		
自 転 車 盗	5	
自販機ねらい		
車 上 ね ら い		
ひ っ た く り		
部 品 ね ら い		
強 制 わ い せ つ		
街頭犯罪合計	14	4
全 刑 法 犯	43	4

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

消防署からのお知らせ

会津若松地方広域市町村圏

整備組合火災予防条例の

一部が改正されました

◆趣旨

平成25年8月に、花火大会において多数の死傷者を出す火災が発生しました。これを受けて、類似火災を防止し、人命を守るために火災予防条例を改正しました。

◆火災危険のある露店の届出

露店を開設（コンロ、グリドル、ストーブ、発電機等を使用する場合）する場合は、消防署への届出と、消火器の準備が必要になります。

◆屋外催しに係る防火管理

祭礼、縁日、花火大会その他の多数の者の集合する屋外での催しのうち、大規模な催しを消防署長が「指定催し」として指定します。指定催しを開催する場合は、14日前までに計画書の提出が必要になります。計画書を提出しなかった場合、条例により罰せられることがあります。

◆問い合わせ先

会津若松広域消防本部予防課

☎ 0242 (59) 1403

会津坂下消防署三島出張所

☎ (52) 3032

会津若松消防署城南分署 電話番号変更のお知らせ

平成26年7月1日から会津若松消防署城南分署の電話番号が変更となります。

【城南分署の電話番号】

☎ 0242 (26) 0119

社会を 明るくする運動 7月は強調月間です

今年で64年目を迎える「社会を明るくする運動」は、すべての国民が犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生についての理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

安全・安心な町づくりと、青少年の健全育成のために、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

社会を明るくする運動 強調月間の活動予定

◆町内パレード

実施日 7月11日

各地区を回りますので温かいご声援をお願いいたします。

◆早朝座禅

実施日 7月29日 6時～

西方西隆寺で座禅を通して非行防止について考えます。

◆みしまテレビ広報番組

①「心のリレー」

7月1日から7月15日の間、午後2時から放送します。

②「更生保護」

7月16日から7月31日の間、午後2時から放送します。広報番組をご覧になり、社会を明るくする運動へのご理解、ご協力をお願いいたします。

「社会を明るくする運動」
三島町推進委員会

☎ 役場 町民課 ☎ (48) 5565

全線復旧への想いを灯す

JR只見線ライトアップ

JR只見線の第一只見川橋梁で6月21日、22日、28日(29日は雨天のため中止)ライトアップが行われ、只見川ビューポイント遊歩道の展望ポイントには多くの只見線ファンが集まり、列車が通過する瞬間を写真に収めていました。

このライトアップは「秘境只見線を愛する会」が主催したもので、県の地域づくり総合支援事業(サポート事業)の助成を受けて実施したものです。

撮影に訪れたカメラマンや沿線の方々は、暗闇に照らされた列車と橋梁の幻想的な光景に、目を奪われていました。ライトアップは10月まで下記日程で実施される予定です。ぜひご覧ください。



今後のライトアップ日程

7月29日(火)、30日(水)

9月6日(土)、7日(日)

10月25日(土)、26日(日)

19:00 から 21:15 頃まで

(上り列車 19:40 頃)

(下り列車 21:00 頃)

※ビューポイントに登る際は足元に十分ご注意ください。